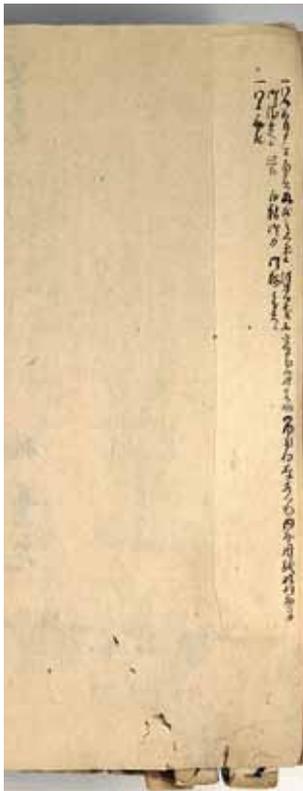


福井県文書館資料叢書11

福井藩士履歴

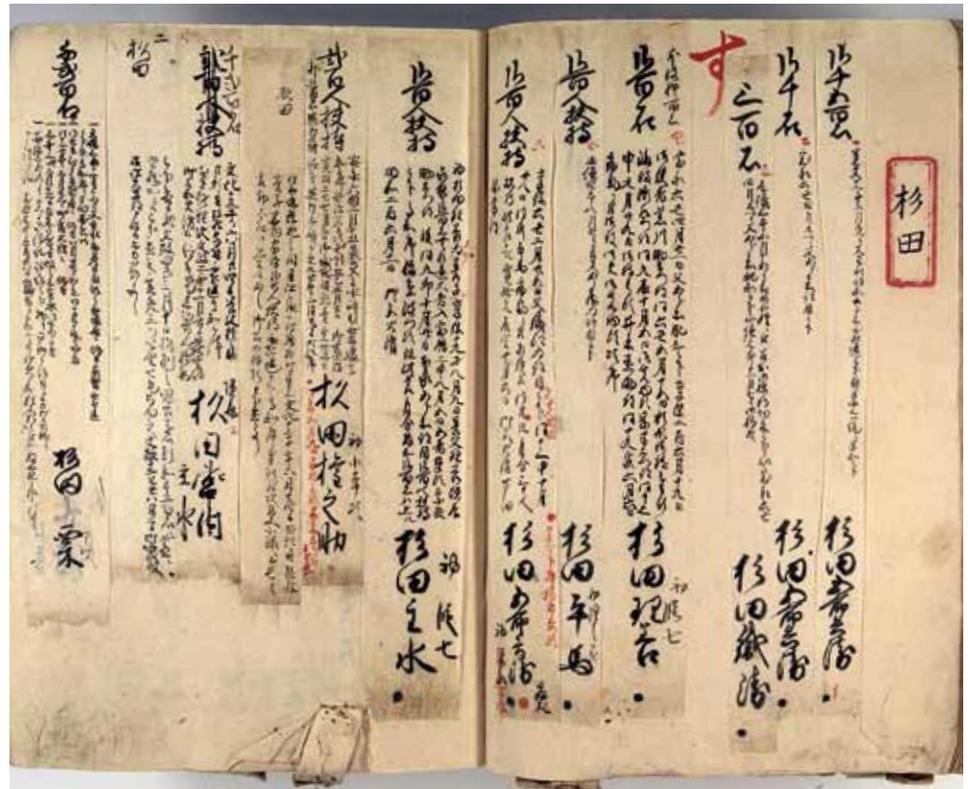
3

けそ



1 「剝札」 柏 1

松平文庫 福井県立図書館保管



2 「剝札」 杉田 1

松平文庫 福井県立図書館保管



3 「剝札」酒井 1 他

松平文庫 福井県立図書館保管



4 「士族」鈴木 準道

松平文庫 福井県立図書館保管

凡例

一、本巻は、福井県文書館資料叢書の第一冊目であり、『福井藩士履歴』全六巻中の第三冊目である。

一、本書の原本は、福井県立図書館に保管されている「松平文庫」のなかの「剝札」「士族」である。「剝札」は上・下、「士族」は一〜七で構成されている（三は欠）。このうち本巻では、けくそまでを翻刻した。ただし「そ」については、「士族」三の「かよたれそ」が欠落しているため、「（士族略履歴）」（以下「略履歴」）にて補った。

一、資料の利用に資するため、巻末に参考資料を付した。

一、編集にあたっては次のように取り扱った。

(1) 「剝札」と「士族」または「略履歴」を連結して『福井藩士履歴』とし、翻刻、刊行することにした。その際、各家は原則として「剝札」の記載順とし、利用の便を考慮して五十音順に組み替えた。さらに同姓が複数ある場合は、家名にアラビア数字を付した。

(2) 原本の藩士名には貼紙・訂正・朱書などがあるが、次のように取り扱った。

- ・見出しの藩士名は現役最後の名前を示した。
- ・改名は藩士名に付されているもののみを、原則として古い順に並べて見出しの藩士名の下に記した。

- ・続柄など名前以外の記載については名前の下に記した。

- ・藩士名の次に石高・扶持米を記した。

(3) 出典が「剝札」以外のものは、藩士名の下に「士族」または「略履歴」と付した。

(4) 「剝札」の巻末および「こ」の終わりなどに貼られていた家は、該当する場所に入れて、

※で原本の場所を示した。

(5) 「士族」のみに出てくる藩士は、該当する五十音の最後に配列した。

(6) 柱は、原則としてそのページの最初の段落における家名を示した。

一、翻刻にあたっては、原本の体裁にそうよう努めたが、読みやすくするために、また検索の便宜を図るため、次のように取り扱った。

(1) 使用字体は原則として常用漢字を用い、異体字は原則として正字に改めた。また変体仮名や合字は通常の仮名に改めたが、次に掲げるような仮名・俗字・慣用字句は残した。

躰(体) 斗(ばかり) 𠂔(より) 而已(のみ) 而(て)

江(え) 者(は) 与(と) 茂(も)

(2) 全文にわたって読点をつけ、あわせて文意が通じないものには(マヽ)などの傍注を付した。また明らかな誤字・脱字は訂正したものもある。

(3) 欠損・虫損等によって文字が判読できない場合には、□や□□で示した。

(4) 原本の平出・闕字などはすべて省略した。

(5) 追記・訂正など朱書はそのことを断らずに、適宜本文に反映した。

一、本書には、現在から見ると基本的人権に関わる歴史的事象も含まれているが、地域の歴史的事実を正しく理解するために原文をそのまま翻刻することを原則とした。本書は人権尊重をめざし、史実にもとづく研究を進める立場から刊行するもので、この趣旨を理解し、利用していただきたい。

一、翻刻にあたっては田原健子氏(福井県図書館運営懇話会委員)が筆耕し、校合は吉田健氏(元福井県図書館文書専門員)と当館職員が行った。編集は吉田健氏のアドバイスを受け、当館職員が行った。

一、資料の所蔵者である松平宗紀氏、筆耕に多大なご協力をいただいた田原健子氏に深く感謝申しあげる。

目次

口絵
凡例

一	福井藩士履歴	け	………	1
二	福井藩士履歴	こ	………	7
三	福井藩士履歴	さ	………	53
四	福井藩士履歴	し	………	151
五	福井藩士履歴	す	………	189
六	福井藩士履歴	せ	………	245
七	福井藩士履歴	そ	………	267

解説

大妻女子大学短期大学部名誉教授

高木不二

参考資料

仙石弥三郎…………… 248
 仙石喜左衛門…………… 248
 仙石喜熊…………… 249
 千本
 千本長右衛門…………… 249
 千本藤左衛門…………… 250
 千本長右衛門…………… 250
 千本長右衛門…………… 250
 千本長右衛門…………… 250
 千本長右衛門…………… 250
 千本長右衛門…………… 250
 千本東岫…………… 251
 千本弥三郎…………… 252
 妹尾
 妹尾与左衛門…………… 255
 妹尾次郎左衛門…………… 255
 妹尾次郎左衛門…………… 255
 妹尾与左衛門…………… 256
 妹尾太郎左衛門…………… 256
 妹尾与左衛門…………… 256
 妹尾平八…………… 256
 妹尾浜三郎…………… 256
 関¹
 関甚五右衛門…………… 257
 関甚五右衛門…………… 258

関甚五右衛門…………… 258
 関平太夫…………… 258
 関若三郎…………… 258
 関与三吉…………… 258
 関平太夫…………… 258
 関良平…………… 258
 関英治…………… 259
 関又十郎…………… 260
 関藤太夫…………… 260
 関藤左衛門…………… 260
 関忠太夫…………… 260
 関忠太夫…………… 260
 関小善次…………… 261
 関藤太夫…………… 261
 関幸左衛門…………… 261
 関恒三郎…………… 262
 関百太郎…………… 262
 関忠次郎…………… 262
 関竜輔…………… 262
 瀬尾
 瀬尾権八…………… 263
 関²
 関又十郎…………… 260
 関藤太夫…………… 260
 関藤左衛門…………… 260
 関忠太夫…………… 260
 関忠太夫…………… 260
 関小善次…………… 261
 関藤太夫…………… 261
 関幸左衛門…………… 261
 関恒三郎…………… 262
 関百太郎…………… 262
 関忠次郎…………… 262
 関竜輔…………… 262
 瀬尾
 瀬尾権八…………… 263

瀬尾権八…………… 263
 瀬尾八左衛門…………… 263
 瀬尾権八…………… 263
 瀬尾卯之平…………… 263
 瀬尾規代太…………… 264
 清田
 清田文平…………… 264
 清田謙蔵…………… 265
 清田丹蔵…………… 265
 清田基…………… 265
 蘭田
 蘭田七郎…………… 268
 蘭田七郎…………… 268
 蘭田七五郎…………… 268
 蘭田藤左衛門…………… 268
 蘭田藤左衛門…………… 268
 蘭田豊之助…………… 268
 瀬尾権八…………… 263
 瀬尾八左衛門…………… 263
 瀬尾権八…………… 263
 瀬尾卯之平…………… 263
 瀬尾規代太…………… 264
 清田
 清田文平…………… 264
 清田謙蔵…………… 265
 清田丹蔵…………… 265
 清田基…………… 265
 蘭田
 蘭田七郎…………… 268
 蘭田七郎…………… 268
 蘭田七五郎…………… 268
 蘭田藤左衛門…………… 268
 蘭田藤左衛門…………… 268
 蘭田豊之助…………… 268

口
絵

1 「剥札」 狛 1

2 「剥札」 杉田 1

3 「剥札」 酒井 1 他

4 「士族」 鈴木 準道